河内長野市社会福祉協議会

支えあい活動の地域づくり啓発

テーマごとに開催している協議体は、第一層（市域）では多地域の支えあい活動実務者や関心のある方々での情報交換や提言の場となり、第二層（小学校区）は具体的に支えあい活動の創出に向けた検討の場として相互に影響しながら進められてきた。その成果もあり少しずつ活動に広がりが出てきており、2021年からは市の地域福祉計画にも位置づけ、支えあい活動を「ほっとかへん」をキーワードに後押ししています。

【個人ができること】
（仮称）お散歩パトロール

愛犬の散歩は見守り活動の第一歩。閉まったままの雨戸や、郵便物のたまった郵便受けなど、「いつも」を知っているからこそ分かる小さな異変の発見が、孤立死の防止につながります。

【市民団体ができること】
おしゃべりコール

コロナ禍の中でできる見守り活動としてはじまった「おしゃべりコール」は、市民ボランティアが電話をかけておこなう活動です。利用者からは「電話が楽しみ」、離れて暮らすご家族からも「なかなか会えないのでとても助かる」と好評です。

【企業・団体ができること】
移動支援

坂道の多い河内長野市では、とにかく移動が大変。特に自動車免許証を返納された方にとっては深刻です。そこで社会福祉施設や商店が、車両に便乗できるように協力してくださり、身近な足として活躍しています。

ひろがる！支えあい活動
生活支援コーディネーター × 13小学校区

河内長野市域全体をカバーする市内13の小学校区ごとに「生支援コーディネーター」を配置し、日々、地域を奔走して住民主体の支えあいの活動を応援しています。

「ほっとかへん」まちをめざして、生活や移送の支援、居場所づくりなどの地域課題を解決する仕組みづくりを話し合う場（協議体）を設けており、さまざまな地域のプレイヤーが集っています。

生活支援コーディネーターが応援している主な活動

○食事を通じた居場所づくり
- えん（荘園町）
- キッチンいろどり（千代田南町）
- こはんやｄａｙ（市町、加賀田、南花台）

○生活支援のしくみづくり
- 困りごとサポート
  ここっとわ（美加の台、美加の台）
- 困りごとサポート
  ここっとわ緑ケ丘（楠ケ丘）
- 南花台生活応援チーム
  「お互いさん」（南花台）
- 清見台日常生活支援グループ
  「きよまる」（清見台）

○その他の居場所づくり
- １／ｆｆのゆらぎ（日東町）
- えんがわ（南花台）

○健康維持増進を目的とした居場所づくり
（介護予防体操など）
- 元気でいる会
  （本多町、アルカ薬局内）
- げんきやｄａｙ（市町）
- 楽々やｄａｙ（市町）
- シルバースクール（三日市）
- 「ワード・クリエーション」シゲサト（美加の台）

河内長野って、こんなまち

【概要】 河内長野市は、大阪府南東部に位置し、市域の７割が森林に囲まれた緑豊かなまちです。また、高野街道、大沢街道、天野街道などが通る交通の要衝としても栄え、観心寺や金剛寺所有のものを筆頭に、８件の国宝と 77 件の重要文化財があります。

昭和 40 年代には宅地開発が進み、人口が急増しましたが、現在は高齢化と人口減少が課題になっています。市域は坂が多い地形のため、移動や買物の支援を筆頭に、さまざまな生活支援が求められています。

【DATA】 ※2022 年 5 月末時点

人口：101,093 人
世帯数：47,529 世帯

市域面積：109.63 ㎢

主要産業：つまようじ、簾、鋳物など

わたしたちの計画

かわちながのつながり・支えあい促進プラン
第４次河内長野市地域福祉計画
第３次河内長野市地域福祉活動計画

2021 年 3 月策定！

国連が定める SDG's で謳われる「誰一人取り残さない」社会をめざす決意を、「ほっとかへん」というタイトルに込めました。

社会福祉法人　河内長野市社会福祉協議会
（大阪府河内長野市喜多町 663-1 イズミヤ河内長野店４階内）